

■ 平成25年9月の行事案内 ■

観察会と自然復元管理作業

* 気象条件等により変更する場合がありますので事前にお問い合わせください。

活動日

9月7日(土) 9月15日(日)

季節を感じる観察会 10:00~12:00

自然復元管理作業 13:00~15:30

場 所 旧水産試験場管理センター前集合

参加費 100円 (保険料代)

持ち物 帽子・タオル・お飲み物・着替え等

■ NPO 法人水元ネイチャープロジェクト 入会案内 ■

みなさんも私たちと一緒に水元の自然について考え、
保全活動に参加してみませんか？

NPO法人水元ネイチャープロジェクトでは、活動の趣旨に賛同いただける
方の入会をお待ちしています。

一 般 会 員：入会金2,000円、年会費2,000円

一般会員は、法人の社員となります。年に一度の総会に出席していただき、会の事業や予算の承認など、会の基本的な運営に参加していただきます。

賛 助 会 員：入会金5,000円、年会費5,000円

賛助会員は、法人などの団体会員です。年に一度の総会に出席していただき、会の事業や予算の承認など会の基本的な運営に参加していただきます。

どろんこ会 員：入会金無料、年会費1,000円

どろんこ会員は、サポート会員です。会の事業に参加でき、総会等に参加する必要はありません。

< 行事案内・入会に関してのお問い合わせ >

NPO 法人水元ネイチャープロジェクト

TEL: 080-1009-0010 (10:00~15:00) まで
ホームページもご覧になれます！

☞ <http://mizumoto-np.topaz.ne.jp/home.html> で検索！

とんぼ 秋津

2013年9月号

秋津(あきつ)とは、
トンボの古い呼び名。
そして日本は昔、
「秋津島」と呼ばれていました。



よしえ画

< 9月 >

ジャコウアゲハ 学名: *Atrophaneura alcinous*

成虫は開張75~100mmで褐色。名前の由来はオスの翅が麝香(ジャコウ)のような匂いを出すため。幼虫の食草のウマノスズクサは毒があるため、このチョウを食べた鳥たちは中毒を起こし、二度と食べなくなると言われています。蛹は、後ろ手にしばられた「播州(ばんしゅう)皿屋敷」に登場するお菊に似ているため「お菊虫」と言われています。

NPO 法人 水元ネイチャープロジェクト

復元ゾーンの生き物たち



<平成25年8月観察記録（主な生物）>

○植物：

ハス、ミソハギ、タコノアシ、サンカクイ、カンガレイ、ハンゲショウ、オニビシ、ノブドウ、ウマノスズクサ、フトイ、オニバス、コオホネ、ヒメコオホネ、アサザ、ガガブタ、チゴザサ、カントウヨメナ、ガマ、ヒメガマ、カラムシ、ヨシ、マコモ、セイバンモロコシ、ノイバラ、セリ、コブナグサ、ミクリ、ショウブ、アカツメクサ、シロツメクサ、ヤブガラシ、ヘクソカズラ、ドクダミ、ミコシガヤ、ヒメクグ、ヒメジョオン、ミソコウジュ、クズ（花）、ケキツネノボタン、キシウスズメノヒエ、スイレン、コンフリー、コヒルガオ、スズメノヒエ、コニシキソウ、セイヨウタンポポ、カタバミ、サンカクイ、ツメクサ、コナギ、ニワゼキショウ、カラスウリ、キカラスウリ、オモダカ、ヘラオモダカ、トチカガミ、ヒメコオホネ、コガマ、アメリカセンダングサ、コヒルガオ、ハギ、エノコログサ、クサギ（花）、キョウチクトウ（花）、ザクロ（実）、カキ（実）

○鳥類：カルガモ、コサギ、ダイサギ、アオサギ、キジバト、カワウ、スズメ、ハシボソガラス、オナガ、ムクドリ、ヒヨドリ、コアジサシ

○昆虫：マエキヒメシャク、ナミアゲハ、アオスジアゲハ、キタテハ、ツマグロヒョウモン、ベニシジミ、モンキチョウ、ウラギンシジミ、ゴマダラチョウ、ハンノキハムシ、ヤナギルリハムシ、コムラサキ、ネアカヨシヤンマ、ギンヤンマ、シオカラトンボ、コフキトンボ、チョウトンボ、ショウジョウトンボ、ウスバキトンボ、コシアキトンボ、アオモンイトトンボ、オオイトトンボ、シロテンハナムグリ、カナブン、シオヤアブ、ショウリョウバッタ、オンブバッタ、オオスズメバチ、エサキモンキツノカメムシ、マルカメムシ、コフキゾウムシ

○その他：コイ、カムルチー、クチボソ、カダヤシ、ブルーギル、タイリクバラタナゴ、ウシガエル（卵、おたまじゃくし）、アメリカザリガニ、ミシシippiaカミミガメ